

1. 概要

平成21年10月1日現在の住民基本台帳・外国人登録に基づく浜松市の総人口は824,023人で、前年に比べ1,787人(0.22%)減少している。世帯数は318,158世帯で、1,442世帯(0.46%)増加している。

性別にみると、男性が410,644人(構成比49.8%)で、前年に比べ1,178人(0.29%)減少している。女性は413,379人(同50.2%)で、前年に比べ609人(0.15%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.3で、平成20年の99.5に比べわずかに減少している。

1世帯あたりの平均人員は2.59人で、前年に比べ、0.02人減少している。

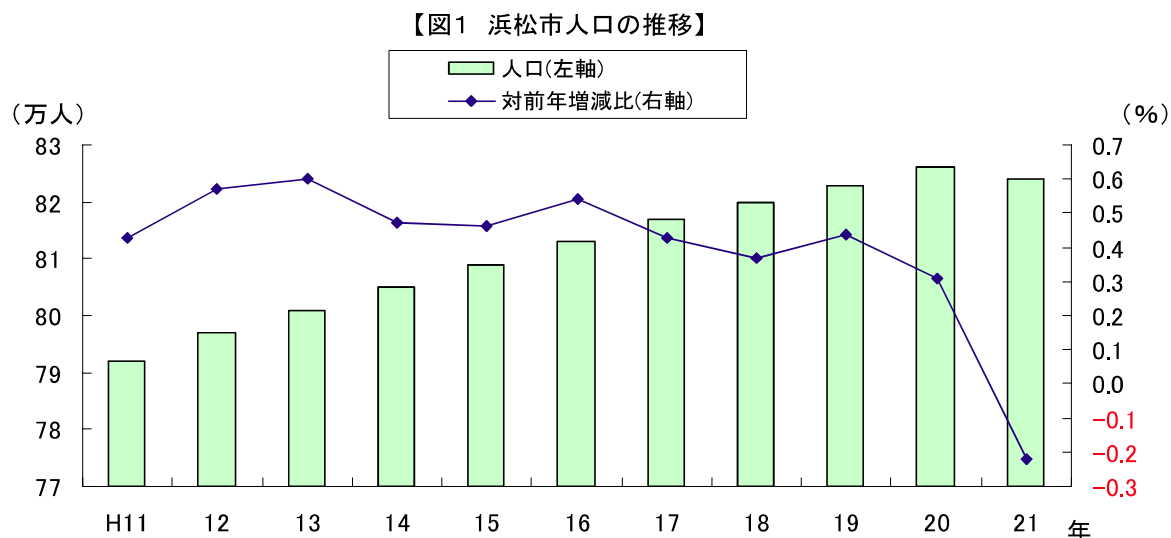


表1 浜松市人口・世帯数の推移

年	総人口			世帯数			住居	
	総数	男	女	世帯数	男	女	総数	前年比%
平成11年	792,091	393,310	398,781	273,310	772,654			0.29
12	796,612	395,576	401,036	277,915	775,508			0.37
13	801,406	397,965	403,441	282,979	778,118			0.34
14	805,180	399,775	405,405	287,511	780,649			0.33
15	808,840	401,666	407,174	291,931	782,875			0.29
16	813,202	403,861	409,341	296,758	784,852			0.25
17	816,658	406,065	410,593	301,643	786,300			0.18
18	819,699	408,372	411,327	306,014	788,102			0.23
19	823,272	410,378	412,894	313,150	790,292			0.28
20	825,810	411,822	413,988	316,716	792,191			0.24
21	824,023	410,644	413,379	318,158	793,505			0.17

注) 平成11年～16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

表2 浜松市人口・世帯数等

	平成20年10月1日						前年	
	総数	男	女	性比	世帯数	1世帯あたり平均人員	総数	前年比%
総人口	825,810	411,822	413,988	99.5	316,716	2.61	824,023	△ 0.22
住民登録	792,191	394,277	397,914	99.1	297,481	2.66	793,505	0.17
外国人登録	33,619	17,545	16,074	109.2	19,235	1.75	30,518	△ 9.22

2. 住民基本台帳人口と外国人登録人口

平成21年10月1日現在の住民基本台帳人口は793,505人で、前年に比べ1,314人(0.17%)増加している。世帯数は300,543世帯で、3,062世帯(1.03%)増加している。

性別にみると、男性が394,974人(構成比49.8%)で、前年に比べ697人(0.18%)増加している。女性は398,531人(同50.2%)で、前年に比べ617人(0.16%)増加している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.1で、前年と同様であった。

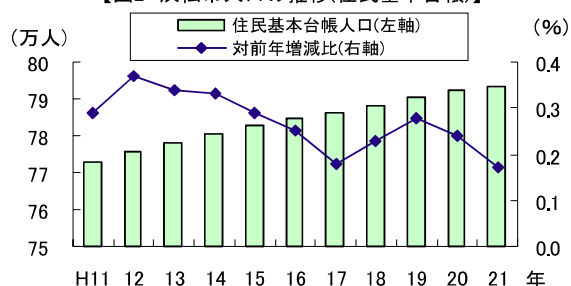
1世帯あたりの平均人員は2.64人で、前年に比べ0.02人減少している。

平成21年10月1日現在の外国人登録人口は30,518人で、前年に比べ3,101人(9.22%)と減少している。世帯数も17,615世帯で、前年に比べ1,620世帯(8.42%)と減少している。

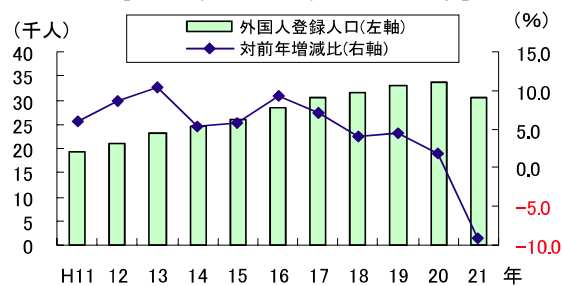
性別にみると、男性が15,670人(構成比51.3%)で、前年に比べ1,875人(10.69%)減少、女性は14,848人(同48.7%)で、前年に比べ1,226人(7.63%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は105.5で、平成20年の109.2に比べ減少している。

1世帯あたりの平均人員は1.73人で、前年に比べ0.02人減少している。

【図2 浜松市人口の推移(住民基本台帳)】



【図3 浜松市人口の推移(外国人登録)】



注)平成11年～16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

民 登 録			外 国 人 登 録				
男	女	世 帯 数	総 数	前年比%	男	女	世 帯 数
382 774	389 880	263 005	19 437	6.07	10 536	8 901	10 305
384 410	391 098	266 965	21 104	8.58	11 166	9 938	10 950
385 890	392 228	270 867	23 288	10.35	12 075	11 213	12 112
387 101	393 548	274 560	24 531	5.34	12 674	11 857	12 951
388 413	394 462	278 240	25 965	5.85	13 253	12 712	13 691
389 539	395 313	281 631	28 350	9.19	14 322	14 028	15 127
390 440	395 860	285 724	30 358	7.08	15 625	14 733	15 919
391 665	396 437	290 052	31 597	4.08	16 707	14 890	15 962
393 023	397 269	293 790	32 980	4.38	17 355	15 625	19 360
394 277	397 914	297 481	33 619	1.94	17 545	16 074	19 235
394 974	398 531	300 543	30 518	△9.22	15 670	14 848	17 615

平 成 21 年 10 月 1 日									
男	前年比%	女	前年比%	性比	世帯数	前年比%	1世帯あたり 平均人員	面積km ²	人口密度
410 644	△0.29	413 379	△0.15	99.3	318 158	0.46	2.59	1,511.17	545
394 974	0.18	398 531	0.16	99.1	300 543	1.03	2.64	-	-
15 670	△10.69	14 848	△7.63	105.5	17 615	△8.42	1.73	-	-

3. 行政区別人口

行政区別に人口・世帯数をみると、中区が人口・世帯数ともに最も多く、人口は247,034人(構成比30.0%)、世帯数は107,236世帯(同33.7%)である。人口・世帯数ともに最も少ないのは天竜区で、人口は36,146人(同4.4%)、世帯数は13,606世帯(4.3%)である。

人口密度も同様に、最も高いのは中区の5,585人/km²、最も低いのは天竜区の38人/km²である。

性比(女性を100とした場合の男性の割合)は、南区が101.2と最も高く、続く東区も101.1で、男性の割合が高い。性比が最も低いのは、天竜区の93.4である。

【図5 行政区別人口・世帯数(構成比)】

外円:人口/内円:世帯数

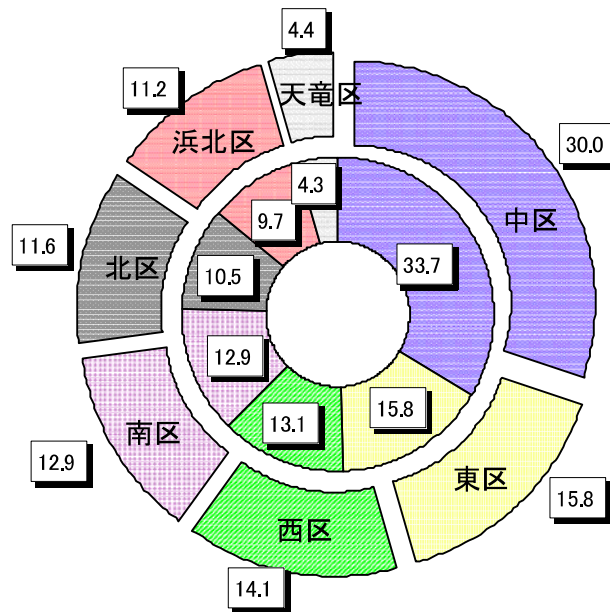


表3 区別の人口・世帯

区	平成20年10月1日				平		
	総数	男	女	世帯数	総数	前年比%	男
中区	249 049	124 281	124 768	107 370	247 034	△ 0.81	123 299
東区	129 909	65 373	64 536	49 789	130 114	0.16	65 404
西区	115 791	57 682	58 109	41 432	116 232	0.38	57 770
南区	106 586	53 557	53 029	40 783	106 344	△ 0.23	53 483
北区	96 040	47 488	48 552	33 263	95 639	△ 0.42	47 245
浜北区	91 763	45 713	46 050	30 508	92 514	0.82	45 987
天竜区	36 672	17 728	18 944	13 571	36 146	△ 1.43	17 456

4. 年齢別人口

年齢別に人口をみると、実数では老年人口(65歳以上)が増加し、年少人口(15歳未満)と生産年齢人口(15歳～64歳)が減少している。構成比では、年少人口が14.2%で前年比0.1%減、生産年齢人口が64.2%で前年比0.6%減少しているのに対し、老年人口は21.6%で前年比0.7%増加している。

行政区別にみると、年少人口の占める割合が最も高いのは西区(15.5%)で、最も低いのは天竜区(8.8%)である。

生産年齢人口の占める割合が最も高いのは中区(65.8%)で、最も低いのは、年少人口と同様天竜区(55.0%)である。

表4 年齢3区分別人口

	平成20年	平成21年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口(15歳未満)	118 090	117 108	33 791	19 702	18 061	15 546	13 159	13 667	3 182
構成比(%)	14.3	14.2	13.7	15.2	15.5	14.6	13.8	14.8	8.8
生産年齢人口(15歳～64歳)	534 840	529 083	162 504	84 496	73 877	68 487	60 728	59 123	19 868
構成比(%)	64.8	64.2	65.8	64.9	63.6	64.4	63.5	63.9	55.0
老年人口(65歳以上)	172 880	177 832	50 739	25 916	24 294	22 311	21 752	19 724	13 096
構成比(%)	20.9	21.6	20.5	19.9	20.9	21.0	22.7	21.3	36.2

平成21年		平成10年		平成11年		平成12年	
女	性比	世帯数	前年比%	1世帯あたり 平均人員	人口構成比	面積 k m ²	人口密度
123 735	99.6	107 236	△ 0.12	2.30	30.0	44.23	5 585
64 710	101.1	50 216	0.86	2.59	15.8	46.29	2 811
58 462	98.8	41 825	0.95	2.78	14.1	85.49	1 360
52 861	101.2	40 978	0.48	2.60	12.9	47.02	2 262
48 394	97.6	33 393	0.39	2.86	11.6	277.63	344
46 527	98.8	30 904	1.30	2.99	11.2	66.51	1 391
18 690	93.4	13 606	0.26	2.66	4.4	944.00	38

年齢構成指数をみると、年少人口指数は前年と増減なしの22.1、老年人口指数は同1.3ポイント上昇の33.6、従属人口指数は同1.3ポイント上昇の55.7、老年化指数は同5.5ポイント上昇の151.9である。老年化指数の上昇が著しく、高齢化が進んでいることが分かる。

行政区別にみると、老年人口指数・従属人口指数において天竜区が突出して高く、生産年齢人口が少ないことを示している。老年化指数は全ての区で100を超えており、老年人口が年少人口を上回っていることが分かる。

【人口の年齢構成の特徴を表す指数】

- 年少人口指数(生産年齢人口に占める年少人口の割合)

$$\frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

- 老年人口指数(生産年齢人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

- 従属人口指数(生産年齢人口に占める年少人口と老年人口の和)

$$\frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

- 老年化指数(年少人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

【図6 年齢3区分別人口(構成比)】

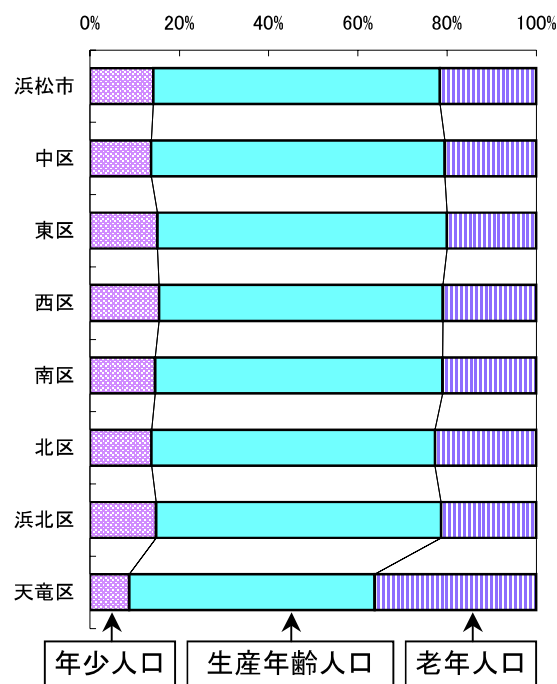


表5 年齢構成指数

	平成20年	平成21年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口指数	22.1	22.1	20.8	23.3	24.4	22.7	21.7	23.1	16.0
老年人口指数	32.3	33.6	31.2	30.7	32.9	32.6	35.8	33.4	65.9
従属人口指数	54.4	55.7	52.0	54.0	57.3	55.3	57.5	56.5	81.9
老年化指数	146.4	151.9	150.2	131.5	134.5	143.5	165.3	144.3	411.6

住民基本台帳人口の平均年齢は43.70歳で、前年の43.40歳より0.30歳上昇している。男女別にみると、男性は42.28歳(前年41.98歳)、女性は45.10歳(同44.80歳)で、ともに前年に比べ上昇している。外国人登録人口の平均年齢は31.38歳で、前年の30.88歳より0.50歳上昇している。男女別にみると、男性は31.31歳(前年30.89歳)、女性は31.45歳(同30.86歳)で、ともに前年に比べ上昇している。

行政区別にみると、住民基本台帳人口の平均年齢は、前年と同様すべての区において上昇しており、最も上昇幅が大きかったのは天竜区の0.44歳で、最も上昇幅が小さかったのは浜北区の0.13歳であった。外国人登録人口の平均年齢は、前年に比べ、浜北区で0.02歳低下、天竜区で0.87歳低下である他はいずれも上昇している。

表6 平均年齢

【住民基本台帳】

	20年			21年		
	平 男	成 女	合 計	平 男	成 女	合 計
浜松市	41.98	44.80	43.40	42.28	45.10	43.70
中 区	41.60	44.59	43.10	41.96	44.95	43.46
東 区	40.89	43.34	42.11	41.20	43.64	42.41
西 区	41.09	44.01	42.56	41.37	44.24	42.81
南 区	41.65	44.39	43.01	41.95	44.76	43.35
北 区	42.66	45.66	44.18	42.95	46.02	44.50
浜北区	42.19	44.22	43.22	42.36	44.32	43.35
天竜区	49.97	53.59	51.84	50.38	54.06	52.28

【外国人登録】

	20年			21年		
	平 男	成 女	合 計	平 男	成 女	合 計
浜松市	30.89	30.86	30.88	31.31	31.45	31.38
中 区	31.03	31.36	31.19	31.65	32.00	31.82
東 区	30.79	31.27	31.02	31.12	32.07	31.59
西 区	29.32	29.07	29.20	29.96	29.78	29.87
南 区	29.94	29.77	29.86	30.30	30.28	30.29
北 区	31.71	30.37	31.06	32.42	30.72	31.58
浜北区	32.12	31.35	31.79	31.75	31.80	31.77
天竜区	38.60	36.58	37.64	37.70	35.83	36.77

人口ピラミッド(5歳階級)は、住民基本台帳人口において、第一次ベビーブーム世代である60～62歳(昭和22～24年生)と、第二次ベビーブーム世代である35～38歳(昭和46～49年生)の人口が多いことを表している。外国人登録人口は、20歳代後半の人口が最も多い。

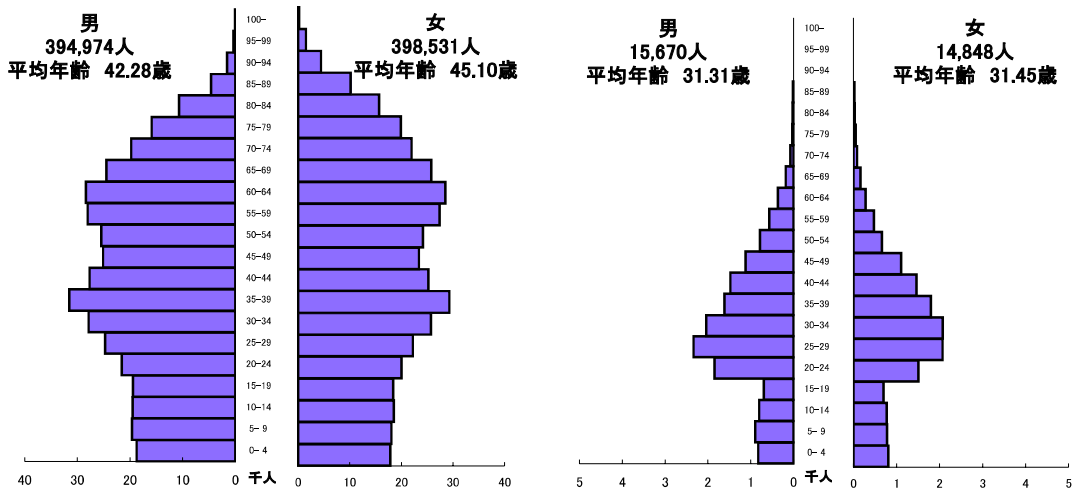
行政区別にみても概ねその傾向があるが、特徴的な区もある。北区の住民基本台帳人口は、他区に比べ年齢階級による凹凸が少ない。天竜区の住民基本台帳人口には、第二次ベビーブーム世代の凸が見られない。

【図7 人口ピラミッド(5歳階級)】

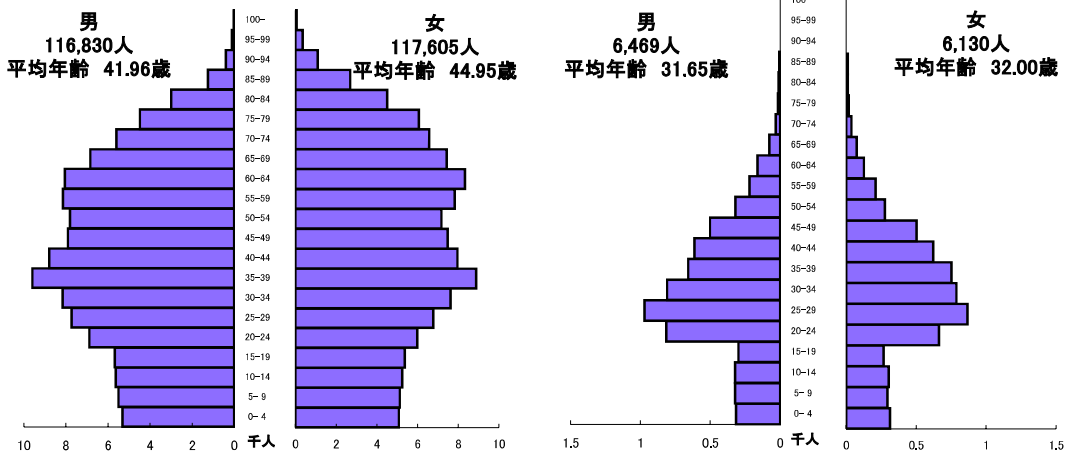
<住民登録人口>

<外国人登録人口>

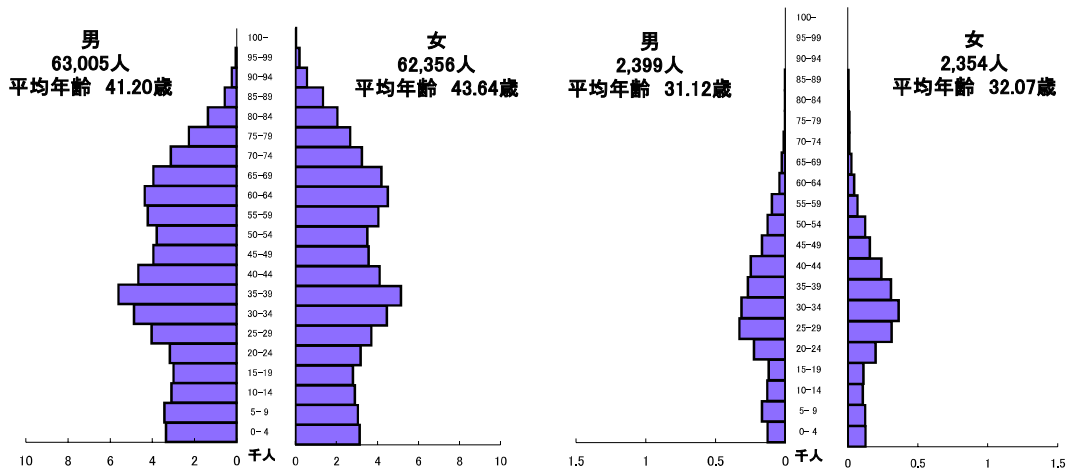
《 浜 松 市 》



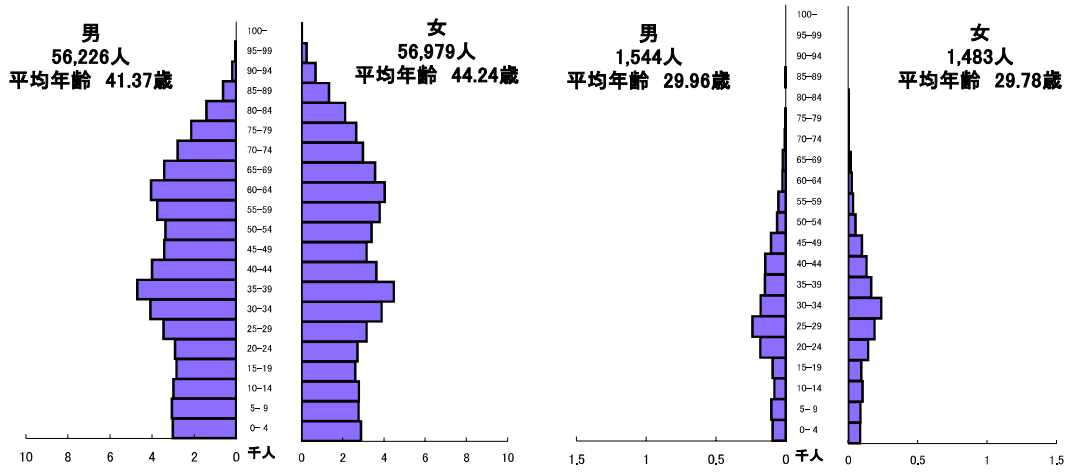
《 中 区 》



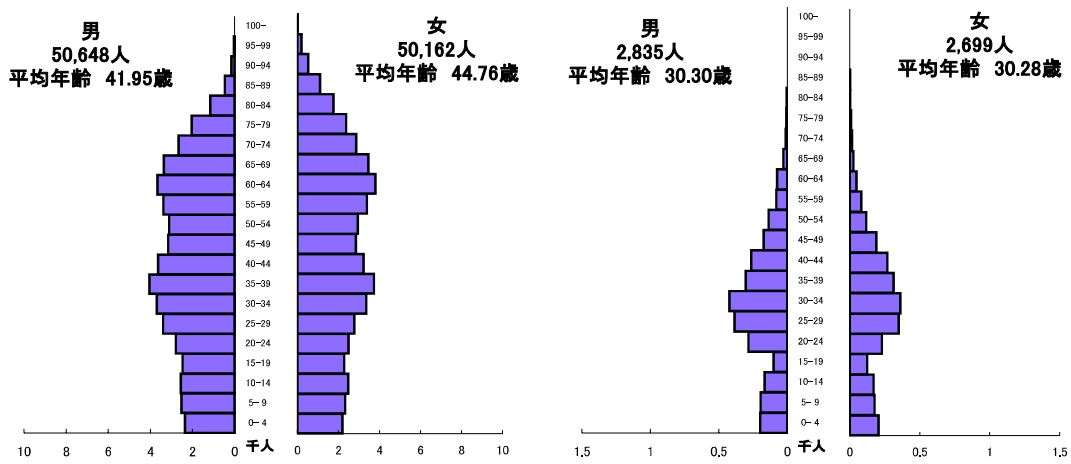
《 東 区 》



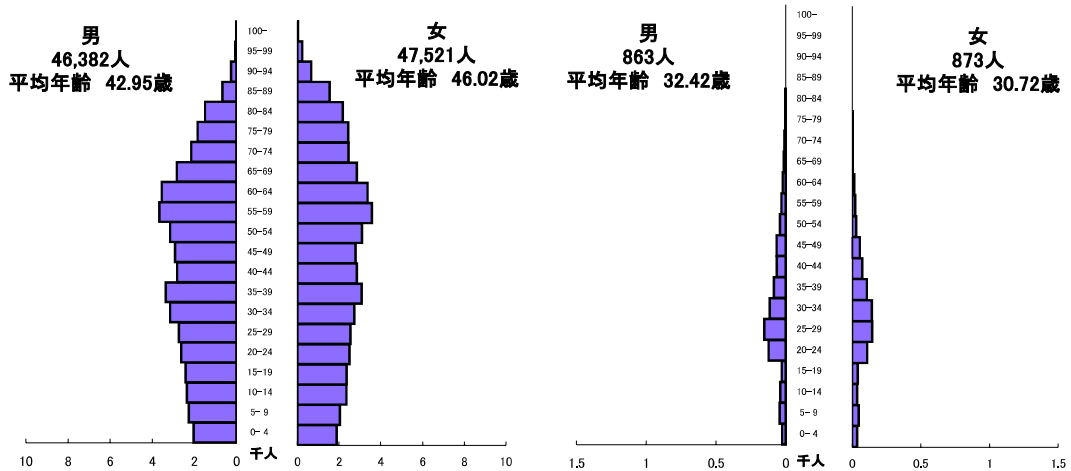
《 西 区 》



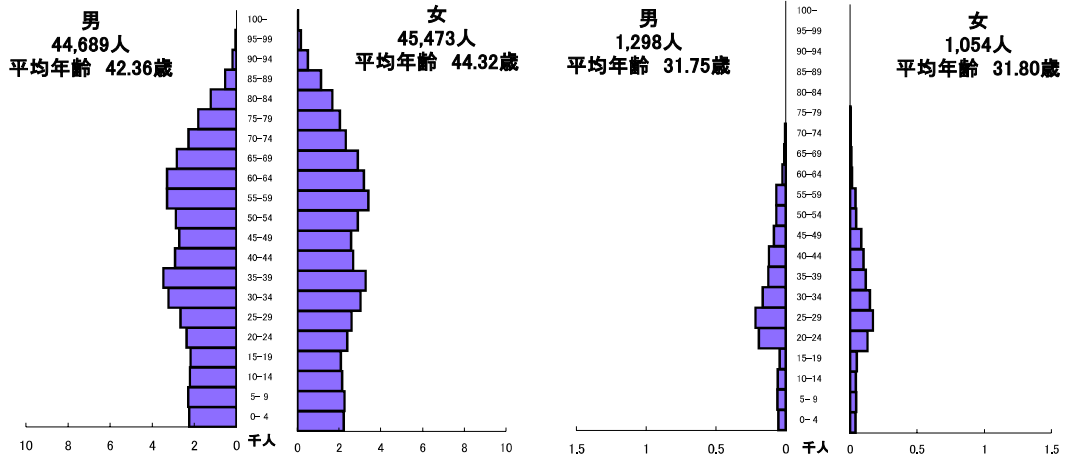
《 南 区 》



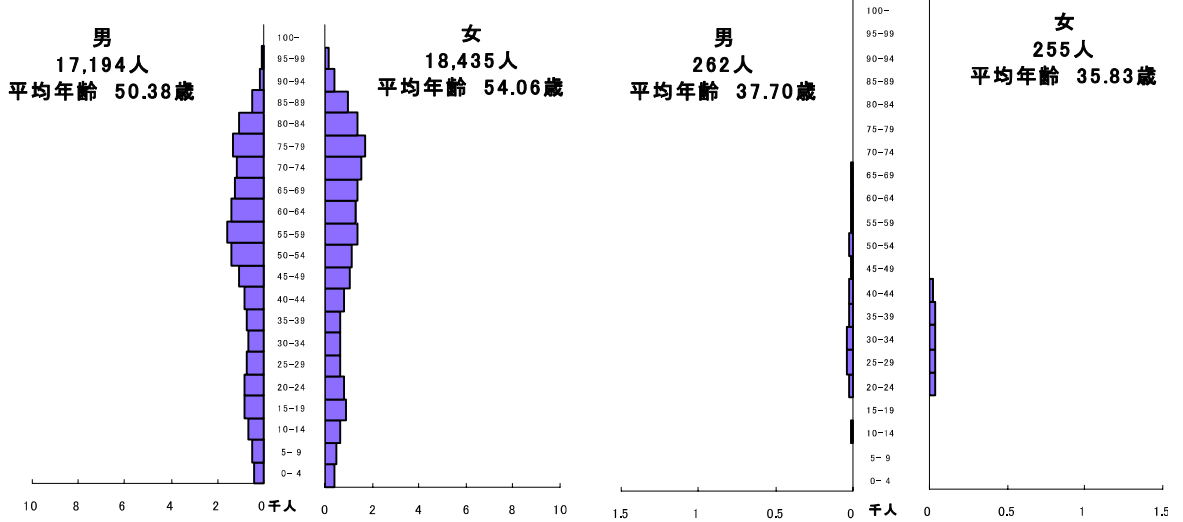
《 北 区 》



《 滨 北 区 》



《 天 竜 区 》



5. 人口動態(平成21年1月～12月)

(1) 自然動態

平成21年1月から12月までの自然動態をみると、出生数は7,445人、出生率(人口1,000人あたりの出生数)は9.03‰(パーミル)である。これに対し、死亡数は6,754人、死亡率(人口1,000人あたりの死亡数)は8.20‰で、両者の差である自然増加数は691人、自然増加率(人口1,000人あたりの自然増加数)は0.84‰である。

前年と比較すると、出生数は373人減で2年連続で減少、死亡数は7人増で3年連続増加している。自然増加数は366人減で2年連続の減少である。

行政区別にみると、出生数・死亡数ともに中区、東区、西区の順に多い。自然増加数は東区、中区、西区の順に多く、北区と天竜区では減少している。

率をみると、出生率が最も高いのは東区、最も低いのは天竜区である。逆に、死亡率が最も高いのは天竜区、最も低いのは東区であり、従って自然増加率も、最も高いのが東区、最も低いのが天竜区である。

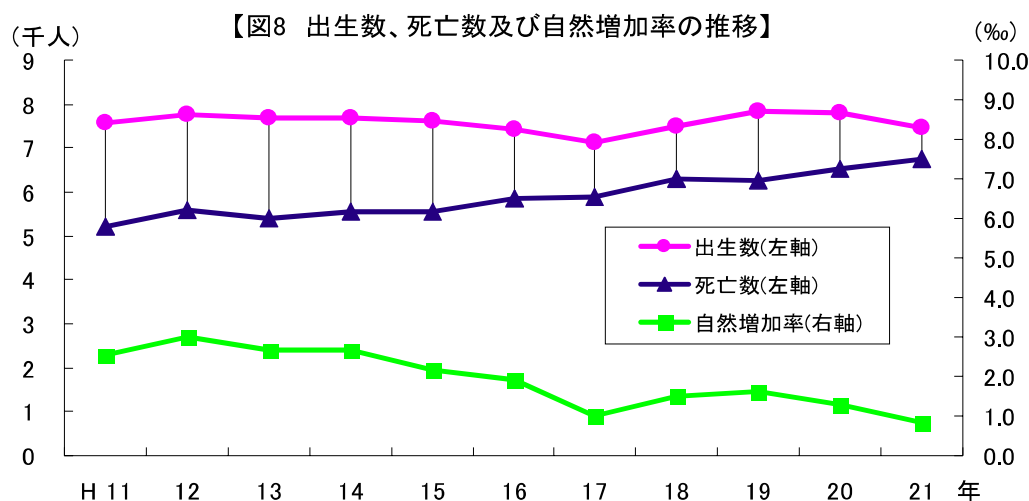


表6 自然動態

区 別	出 生			死 亡			自 然 増 加		
	総 数	出生率(‰)	前年比(%)	総 数	死亡率(‰)	前年比(%)	総 数	自然増加率(‰)	前年比(%)
浜松市	7,445	9.03	△ 4.77	6,754	8.20	△ 0.10	691	0.84	△ 34.63
中 区	2,241	9.07	-	1,922	7.78	-	319	1.29	-
東 区	1,349	10.37	-	945	7.26	-	404	3.10	-
西 区	1,125	9.68	-	912	7.85	-	213	1.83	-
南 区	945	8.89	-	795	7.48	-	150	1.41	-
北 区	749	7.83	-	898	9.39	-	△ 149	△ 1.56	-
浜北区	877	9.48	-	698	7.54	-	179	1.93	-
天竜区	159	4.40	-	584	16.16	-	△ 425	△ 11.76	-
平成20年	7,818	9.47	△ 0.48	6,761	8.19	3.63	1,057	1.28	△ 20.65

(2) 社会動態

平成21年1月から12月までの社会動態をみると、転入者数は23,653人、転入率(人口1,000人あたりの転入者数)は28.70%(パーミル)である。これに対し、転出者数は27,796人、転出率(人口1,000人あたりの転出者数)は33.73%で、両者の差である社会増加数は4,143人減少となり、社会増加率(人口1,000人あたりの社会増加数)は△5.03%である。

前年と比較すると、転入者数は3,714人減、転出者数は1,483人増加となった。社会増加数は4,143人減で、493.07%の大幅な減少となっている。

行政区別にみると、転入者数は中区、東区、西区の順に多いが、転出者数は中区、東区、南区の順に多い。社会増加数はすべての区において減少しており、中区、南区、東区の順に減少数が多い。率をみると、転入率・転出率ともに最も高いのは中区であるが、社会増加率はすべての区で減少しているが、なかでも西区が最も減少の幅が少なく、浜北区がそれに続いている。

自然動態と社会動態を比較すると、前年は浜松市の自然増加数と社会増加数の差はほとんどなかったが、本年は自然増加数691人に対し社会増加数は4,143人減少となり、浜松市から転出する人数が多く大幅な人口減少となった。

【図9 転入者数、転出者数及び社会増加率の推移】

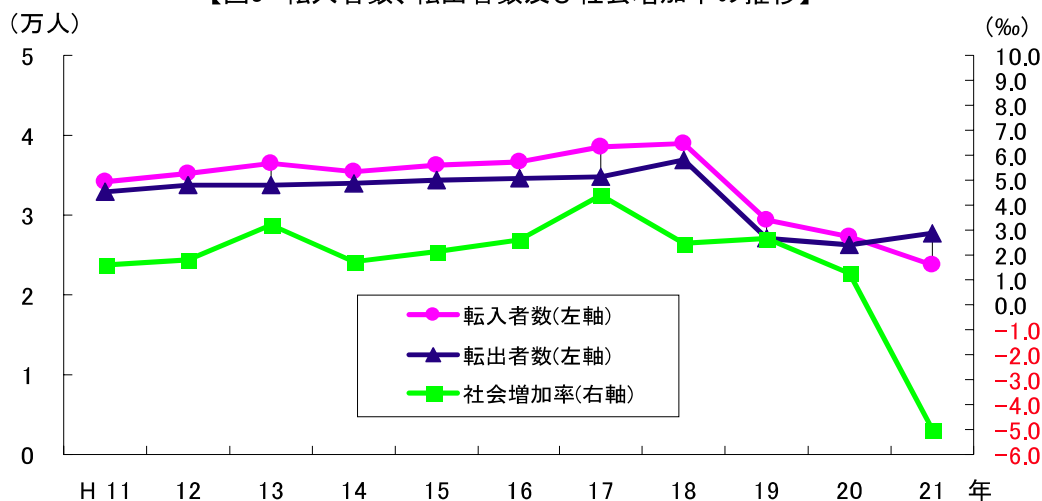


表7 社会動態(市外移動)

区 別	転 入			転 出			社 会 増 加		
	総 数	転入率(%)	前年比(%)	総 数	転出率(%)	前年比(%)	総 数	社会増加率(%)	△は減少率 前年比(%)
浜松市	23,653	28.70	△ 13.57	27,796	33.73	5.64	△ 4143	△ 5.03	△493.07
中 区	9,645	39.04	-	11,487	46.50	-	△ 1842	△ 7.46	-
東 区	3,903	30.00	-	4,330	33.28	-	△ 427	△ 3.28	-
西 区	3,034	26.10	-	3,333	28.68	-	△ 299	△ 2.57	-
南 区	2,958	27.82	-	3,618	34.02	-	△ 660	△ 6.21	-
北 区	1,826	19.09	-	2,236	23.38	-	△ 410	△ 4.29	-
浜北区	1,834	19.82	-	2,120	22.92	-	△ 286	△ 3.09	-
天竜区	453	12.53	-	672	18.59	-	△ 219	△ 6.06	-
平成20年	27,367	33.14	△ 6.53	26,313	31.86	△ 2.91	1,054	1.28	△ 51.58

6. 人口移動状況(住民基本台帳・平成21年1月～12月)

平成21年1月から12月までの人口移動状況をみると、東海地方での出入りが最も多く、転入者は9,372人(構成比52.0%)、転出者は9,068人(49.0%)である。以下、関東地方、近畿地方と続いている。

東海地方を県別にみると、転入者・転出者ともに最も多いのは静岡県で、東海地方における移動者の約6割を占めている。このことから、県内移動者が浜松市の人口動態に大きく影響していることが分かる。関東地方においては、転入者・転出者ともに東京都、神奈川県に多い。

大都市(東京都特別区部及び政令指定都市)別にみると、転入者は静岡市、東京都特別区部、名古屋市の順に多く、転出者は東京都特別区部、名古屋市の順に多い。

全国でみると480人の転出超過であるが、北陸甲信越地方と東海地方、中国地方、四国地方に対しては転入超過である。東海地方においては304人の転入超過であるが、静岡県以外は全ての県で転出超過である。

表8 地方別転入・転出者数

地方	転 入				転 出				転入超過数(△は転出超過数)		
	総数	構成比(%)	男	女	総数	構成比(%)	男	女	総数	男	女
総数	18,014	100.0	10,537	7,477	18,494	100.0	10,668	7,826	△ 480	△ 131	△ 349
北海道	306	1.7	188	118	308	1.7	214	94	△ 2	△ 26	24
東北	451	2.5	264	187	478	2.5	319	159	△ 27	△ 55	28
関東	4,201	23.3	2,534	1,667	5,003	27.1	2,885	2,118	△ 802	△ 351	△ 451
北陸甲信越	710	4.0	423	287	625	3.4	377	248	85	46	39
東海	9,372	52.0	5,275	4,097	9,068	49.0	5,063	4,005	304	212	92
近畿	1,265	7.0	756	509	1,344	7.3	762	582	△ 79	△ 6	△ 73
中国	610	3.4	394	216	359	1.9	217	142	251	177	74
四国	155	0.9	104	51	145	0.8	80	65	10	24	△ 14
九州・沖縄	944	5.2	599	345	1,164	6.3	751	413	△ 220	△ 152	△ 68

注1) 住民基本台帳人口移動報告月報(総務省統計局)による。

注2) 東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 北陸甲信越地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県 近畿地方：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 中国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県 九州・沖縄地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

注3) 都道府県別・大都市別の転入・転出者数は、統計表6に掲載。

表9 東海地方県別転入・転出者数

県	転 入				転 出				転入超過数(△は転出超過数)		
	総数	構成比(%)	男	女	総数	構成比(%)	男	女	総数	男	女
総数	9,372	100.0	5,275	4,097	9,068	100.0	5,063	4,005	304	212	92
静岡県	6,026	64.3	3,373	2,653	5,401	59.6	2,979	2,422	625	394	231
岐阜県	252	2.7	149	103	307	3.4	175	132	△ 55	△ 26	△ 29
愛知県	2,758	29.4	1,549	1,209	3,013	33.2	1,703	1,310	△ 255	△ 154	△ 101
三重県	336	3.6	204	132	347	3.8	206	141	△ 11	△ 2	△ 9